

福祉のかけ橋

平成13年3月 第24号



「手づくりおひなさま教室」
こんなにかわいいのが出来たよ

平成十二年度事業を顧みて

南山見地区社会福祉協議会
会長 高嶋清典

この一年間を顧みて、当地区社協事業の運営に当たり、役員やボランティアグループ各位をはじめ、地域の皆様方多数のご参加により、順調に推進させていただき、このご協力に対し心から感謝申し上げます。特に、昨年四月から、介護保険制度を始めとする「みんなで支え合う福祉」に変わり、皆様方の福祉への参加が大きなポイントとなっております。

福祉の勉強会である八乙女福祉カレッジも、今年も地区の高齢者教室と共催で講座や社会見学を行っていただきましたが、なかなか好評で、新年度もこのような形で行えば、より多数の参加者が期待できるのではないかと思います。

また、会場の都合で開催できなかった合同ミニ託老所敬老の集いも、新年度はやれたらいいなと思います。そのほか、ミニ託老所世話方研修や、一人暮らしや高齢世帯の方々を招待しての会食交流会は、食改やボランティアアングルの皆さんに大変お世話になり、マーシ園でのボランティア、公民館の三世代交流、在宅介護者リフレッシュ、友愛訪問花鉢贈呈、施設や高齢世帯への歳末見舞い等々、地区社協ならではの事業も行って参りました。

今後共、皆様方の一層のご協力をお願いします。

二月十八日の「三世代交流の集い」において、当地区社協ではこれまで、交通安全マスコット作りを行っていましたが、主催者の公民館とも相談し、「手づくりのおひなさま教室」を加えていただきました。
 大変好評でしたので、ご指導いただいた高倉廣子様にお礼申し上げますことにも、お寄せいただいた投稿文をご披露いたします。
 (事務局)

三世代交流の集いに参加して

志観寺 高 倉 廣 子

「手づくりおひなさま教室」を開催するに際しまして、老人会婦人部等の皆様方に大変お世話になり厚くお礼申し上げます。

短い時間に仕上げなければならず、材料の下準備を心よく引き受けて、夜遅くまで生地を裁断を下さいました。そして、当日は子供達に自分達の幼い頃のおひなさまの思いで話などたくさん語って下さいました。

普段はおてんばな子供達も、今日ばかりはすまし顔、男びな女びなの目を描くのに一瞬緊張している子供達の顔、お花をいっぱい描き上げられた絵、元気に踊っているかのように表情豊かな可愛い作品、どれも素晴らしい完成品で、体育館の壁をミニギャラリーに飾ることができました。

その後、歌も出て皆で大合唱。

かつては、親が娘の身のけがれをはらい、健康と幸福を願うため桃の節句を祝ったと言う古い歴史があります。

豪華なひな人形もありますが、手作りの素朴な人形も最高の喜びとして、小さな胸に楽しい思い出として心に残ったのではないのでしょうか。

現在は、住宅事情も変わり、人形も多様化して来ています。子供達の作品をみながら、ゆっくり話し合うきっかけとなってもらえば、大変嬉しく思います。

今回は、この製作したひな人形を、井波町の木にこだわって「木のハガキ」づくりに使用してみました。

子供達は、自分の作品を通して物事に対して自信を持ち、物づくりの喜びを感じ取り頑張っていると思います。

ミニ託世話方研修 (調理実習)

会食交流会に参加して

谷 谷 田 美 知 子

一月二十日の研修に参加し、調理実習で習った食事で、招待者や参加者といろいろ話をしながら「会食」や「ゲーム遊び」等を行い、楽しい一日の交流を終えました。

私自身こうした研修会に参加した事がなく、日常の家事も忘れるほど、皆さんと共に有意義なひとときを過ごしました。

気のせいか、お帰りになる皆さんの後ろ姿が、生き生きと見受けられ、会話やふれあいの大切さを感じました。また、とにかく実際に体験してみなければ、分からないことがあることも実感しました。

世間との交流や行動範囲も狭くなりがちですし、相手の立場に立つて理解することも忘れがちです。人生の先輩の方々に教えていただくこともたくさんあるでしょう。

これからも、私なりに少しづつ、前向きに勉強していきたいと思えます。

ボランティアグループによる

第二回会食交流会

知る葉グループ 須川 ユキエ

二月十日、地区社協とボランティアグループの皆さんで、一人暮らしや高齢者世帯の方々を公民館にお招きし、一部持ち寄った食材を使って「鍋料理」の会食交流を行いました。

トントンと野菜を切り刻む包丁の音とともに、早くも美味しい匂いが部屋一杯に充滿し、ビールやジュースもすいすい。おなか満腹、話も御馳走。笑い転げる大きな声。とても賑やかに盛り上がり愉快でした。

小休止のあと、全員で「お抹茶」を戴き、今度は、「手品」と「寸劇」のアトラクション。いずれも拍手々々の見事な出来栄で、アンコールも飛び出すありさま。ボランティアの私達にとつて、この上ない心の励みと、喜びとなりました。

最後に、全員に心の籠もった景品が当たるビンゴゲームを楽しみ、手にした景品を広げながら童心に返ったひとときを過ごしました。

お年寄りとの楽しいふれ合い、暖かい「憩いの場」をいつまでも続けて行きたいものです。



平成12年度 南山見地区社協事業経過

(H13.1.1~3.31.)

年月日	実施事業	場所
13. 1. 1.	広報「福祉のかけ橋」第23号発行	
1.18.	配食サービス①（一人暮らし老人—担当・民生委員）	地区内
1.20.	ミニ託老所世話方研修②・会食交流会①	公民館
1.29.	ボランティア部会（会食交流会打合わせ）	〃
1.30.	地区社協連絡協議会（小地域フォーラム打合わせ）	福祉センター
2.10.	会食交流会②（一人暮らし老人・高齢世帯）	公民館
2.15.	配食サービス②（一人暮らし老人—担当・民生委員）	地区内
2.18.	三世代交流の集い（壁掛けひな人形作り）	公民館
2.20.	井波町ボランティアの集い（会長出席）	福祉センター
2.24.	小地域フォーラムいなみ（いなみ地区社協主催に協力）	〃
3. 4.	在宅介護者リフレッシュ研修会（講師・特養いなみ中川志保子氏）	木彫りの里
3.15.	配食サービス③（一人暮らし老人—担当・民生委員）	地区内
3.15.	井波町ボランティア企画運営委員会（会長出席）	福祉センター
3.17.	花鉢贈呈（一人暮らし老人8名へ）	地区内
3.27.	広報部会（「福祉のかけ橋」第24号発行について）	公民館
3.31.	広報「福祉のかけ橋」第24号発行	

在宅介護者

リフレクシユ研修 実施

三月四日、木彫りの里創造遊館において、家庭で寝たきりの方や痴呆症の老人などの在宅介護に当たっておられる方々をお招きし、日頃の悩みや体験を話し合うとともに、介護の技術や支援サービス等について学習する研修会を行いました。

学習一 講演ビデオ聴講

演題「人生は明るく生きる」

講師 福岡市真言宗南蔵院 住職

林 覚 乗氏

学習二 指導「在宅介護について」

講師 特別養護老人ホームいなみ

生活指導員 中川 志保子氏

在宅介護の指導に当たっていただいた中川講師からは、

- ◆ 在宅介護の必要性と重要性
- ◆ 介護される人の立場に立った介



一人暮らしの方々に 花鉢贈呈



3月17日、友愛訪問に併せ、春を告げる花鉢（西洋しゃくなげ）を8名の方々に贈りました。

“今日は”と声をかけると、元気な返事で顔を見せてくださりまして安心しました。

2月の会食交流会以来の再会で、いろいろお話をしながら、花鉢を大事そうに手にされた写真などを撮り“花が咲き終わったら、また、鉢の手入れに来ますから元気でね”と言葉をかわしご自宅を後にしました。（事務局）

編集後記

かねてより進められていた南山見保育所の建設がこのほど完成の運びとなり、とても素晴らしいモダンな姿を見せてきました。
次代を担う子供達の「保育の場」として、いついまでも、平和で幸多かれと祈っております。（樫の木）

今後の行事予定

- 四月十三日（金） 会計監査
- 四月十七日（火） 役員会
- 四月二十一日（土） 総会
- 四月下旬 花苗配布

号数	第二四号
発行	平成十三年三月
所在	富山県井波町川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社協

◎ 読んだら綴りましょう